

| | | | | | |
|-----|----|----|----|-------|-----|
| 教科名 | 国語 | 科目 | 国語 | 週授業時間 | 3時間 |
|-----|----|----|----|-------|-----|

1. 教科書

教科書：「新しい国語 2」（東京書籍）

副教材：「教科書準拠ワーク よくわかる国語の学習 2〔東京書籍版〕」（明治図書）

：「新編 新しい国語 新出漢字の学習 2」（東京書籍）

：「夏期練成ゼミ 中2国語 標準編」（育伸社）

：「国語便覧 千葉県版」（浜島書店） ※一年次に配布済

2. 授業の目標および内容

「話す」「聞く」「読む」「書く」という言語活動を総合的に行うことによって、国語の能力を高めるとともに、より豊かな人格形成を目指します。

3. 試験について

| | 1学期 | | 2学期 | | 3学期 |
|------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 定期試験 | 一次 5月 | 二次 7月 | 一次 10月 | 二次 12月 | 期末 3月 |
| 学力試験 | | | 第1回 9月 | 第2回 1月 | |

内容・難易度について

① 定期試験：教科書・プリントなどの授業範囲内で、問題を作成します。

「国語」60点前後＋「国語演習」40点前後、合わせて100点満点で作成します。
尚、1学期は書写が10点分入るので、「国語」50点前後＋「国語演習」40点前後、合わせて90点満点で作成します。

※ 授業の進度により、比率が変化することもあります。

② 学力試験：教科書以外の文章を用いて問題を作成し、中学2年生としての学力を試します。

4. 課題・補習について

夏期休業中の課題は、作文・読書感想文・問題集などの予定です。

試験等で理解が著しく進んでいない者に対し、補習を実施することがあります。

5. 評価の視点

宿題やノート提出、小テストなどを参考に平常点を加点または減点して評価をします。

授業計画

| 学期 | 単 元 | 学 習 内 容 | 備 考 |
|----|--------|---|-----------------------------|
| 1 | 《書写》 | 昨年に引き続き、週に1時間「書写」を行います。（1学期のみ） | 書道室にて実施します。 |
| | 未来へ | 詩の内容や修辞法などを学びます。 | 教科書の中に出てくる漢字・語句の小テストを実施します。 |
| | 手紙の効用 | 手紙について書かれた随筆を読んで、手紙・言葉への考えを深める。 | |
| | 短歌を楽しむ | 日本独自の伝統文学である短歌の持つ魅力、リズムの美しさ、言葉の持つ力などについて学びます。 | |

| | | | |
|---|---|---|------------------------------------|
| | <p>字のない葉書</p> <p>手紙の書き方</p> | <p>登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかについて注意し、作品を読み味わいます。</p> <p>書き方を学び、実際に書いて学ぶ。</p> | |
| 2 | <p>《ビブリオバトル》</p> <p>ハトはなぜ首を振って歩くのか</p> <p>卒業ホームラン</p> <p>黄金の扇風機</p> <p>サハラ砂漠の茶会</p> | <p>一年次に引き続き、今年度もビブリオバトルを実施します。二学期中のどこか(詳しくは授業で説明します)で実施予定なので、準備しておきましょう。今年度は国語の時間に実施します。</p> <p>内容が言葉だけでなく、絵や図に表現されているので、様々な表現から内容を理解した上で、自分の考えを深める練習をします。</p> <p>作品の登場人物の心境の変化を発言や場面からどのように読み取るのか、考えながら授業に参加させるような取り組みを工夫します。</p> <p>「美」についての二つの論証を読み比べ、その確かさや論証の仕方を学び、自分の知識や体験と結び付けて考えを深める論の進め方を身につけます。</p> | <p>教科書の中に出てくる漢字・語句の小テストを実施します。</p> |

| | | | |
|----------|--|--|------------------------------------|
| <p>3</p> | <p>走れメロス</p> <p>「正しい」言葉は信じられるか</p> <p>鯉節 世界に誇る伝統食</p> <p>わたしが一番きれいだったとき</p> | <p>作品を読み味わい、人間の生き方や考え方について学びます。語句の使い方や、表現、文体の特徴に注意して読み、人物像の変化をとらえます。 図書室を利用し、作者についての理解を深める授業をします。</p> <p>事実の述べ方によって読み手に与える印象の違いについて考えます。</p> <p>説明文の読解をねらいとして、構成・展開などを学びます。説明文の接続語にも注目をし、論理展開の方法を学ばせます。</p> <p>詩の形式や修辞法などを学び、詩の中の背景や心情などを追求していきます。</p> | <p>教科書の中に出てくる漢字・語句の小テストを実施します。</p> |
|----------|--|--|------------------------------------|